塩竈アフタースクール事業

- 放課後の子どもの居場所づくりを支援 -

放課後に子どもにとって魅力的な事業を提供し、次世代を担う子どもの育成 を図ることを目的に『塩竈アフタースクール事業』を進めています。

子どもたちが放課後などに、笑顔になれる居場所・'ほっと'できる居場所づく りを支援し、地域の方が優しく見守り、そして地域の方々も元気になれるまち づくりを目指しています。

わくわく遊び隊

わくわく遊び隊は、小学生が授業終了後に学校の校庭などで、運 動要素を取り入れたレクリエーション活動や地域文化の体験型学習 活動を行い、子どもたちが安心して楽しめる居場所をつくります。

「子どもたちの体力・運動能力を向上させたい!」との思いから、塩 竈市スポーツ推進委員、塩釜市体育協会、塩竈フットボールクラブの 方々が指導者として、平成28年度に玉川小学校で開始されました。

「いろいろなスポーツや遊びを、楽し みながら教えてもらえるのでよかっ た。」「家にいるとゲームばかりして いるので、体を使った遊びをしても らえることがうれしかった。」

平成28年度

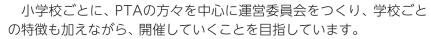
玉川小学校の1年生から3年生の希望者を対象に、週1回 程度、年間24回開催しました。運動の基礎になる「投げる」 [走る] [跳ぶ] を軸にさまざまな運動を行い、ドッジボール・ 鬼ごっこ・サッカーが人気でした。





保護者の感想

平成29年度



6月には月見ヶ丘小学校で、10月には杉の入小学校と第三小学校で 開始しました。第一小学校と第二小学校でも、開始に向けて準備を進 めています。

見学できますので、地域の皆さんで子どもたちが活躍する姿を見守 りましょう。 問 生涯学習課学習支援係☎362-2556

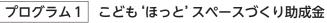


Shiogama

こども「ほっと」スペースづくり支援プログラム

地域の方々などにより子どもたちが放課後、休日、長期休業中に 'ほっと' できる居場所をつくる プログラムです。'ほっと'スペースづくりを支援するために、助成金による支援と講演会、勉強 会などを開催します。

子どもの居場所づくりに関心をお持ちの方は、気軽にご参加ください。



ほっとスペースづくりを行っていただく団体などに助 成金による支援と、支援研修などを通して活動をサポート します。

助成金額(1団体あたり)

25万円(1~2件程度)、15万円(3~5件程度) [予算]平成29年度100万円、平成30年度300万円

対象活動

- ○平日の放課後や夜間の子どもの居場所 [例] 子ども・地域食堂など
- ○学習支援など

[例] 各種教科の学習支援、英会話教室、料理教室など

○多様な学びを通じた多世代間の交流を図る事業 [例] 伝承遊び、囲碁、将棋、まちあるき、体験事業など

プログラム 2

こども 'ほっと' スペースづくり講演会

讃演テーマ こどもたちにとって放課後の居場所がある ことの大切さ~私がこども食堂を立ち上げた理由~

師 栗林知絵子さん

(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)

と き 11月3日(金・祝)13:30~16:30

ところ ふれあいエスプ塩竈 学習室1(東玉川町)

プログラム 3 こども 'ほっと' スペースづくり勉強会

子どもの居場所づくりに関心がある方を対象に勉強会 を行います。全6回シリーズで、子ども向けプログラムの 作り方、安全管理などを予定しています。

問 子育て支援課家庭支援係☎353-7797